

## 名簿や住所録などで使える 便利なエクセル関数

### 1. 住所録などで、関数を用いてふりがなを自動入力したり、ハイフンなしの郵便番号を出すには？

まず、エクセルで次のような住所録を作成してください(住所は郵便番号で入力するとよい)

	A	B	C	D	E	F	G
1	氏名	ふりがな	郵便番号1	住所1	住所2	郵便番号2	
2	青森花子		125-0042	東京都葛飾区金町1-2-3			
3	秋田太郎		040-0001	北海道函館市五稜郭町2-3-4	五稜郭マンション506		
4	岩手花子		292-0061	千葉県木更津市岩根333-11			
5	山形太郎		239-0821	神奈川県横須賀市東浦賀町	111-1		
6	宮城花子		663-8021	兵庫県西宮市上之町999	タイガーズマンション909		
7	福島太郎		299-0102	千葉県市原市青柳888-7			
8	長野花子		202-0023	東京都西東京市新町1111-1			
9	岡山花子		241-0802	神奈川県横浜市旭区上川井町	777-7-707		
10	山口太郎		297-0037	千葉県茂原市早野555-5			
11	宮崎花子		297-0029	千葉県茂原市高師888-8			

#### (A) 上の住所録が出来たら、まず「ふりがな」欄にふりがなを記載させる

- ① B2 セル をクリック → ホームタブをクリック → 編集グループのオートサム右の▼をクリック → その他の関数をクリック → 関数の分類 を「情報」にして PHONETIC をクリック → OK をクリック
- ② 関数の引数「参照」欄にカーソルが出ている状態で A2 セル をクリック → OK をクリック
- ③ B2 セル に「アオモリハナコ」と出たことを確認して、B2 セルの右下角にマウスポインターを当て + になった時に押さえて下までドラッグする(オートフィル機能により B2 セル の式をコピーする)

#### PHONETIC 関数について

「フォネティック」と読む

「発音に即した」などの意味がある

入力に基づいたふりがなを取り出す関数です

(B) 次に「郵便番号 2」欄に「1250042」のようにハイフンなしの郵便番号を記載させる

- ④ F2 セルをクリック → ホームタブをクリック → オートサム右の▼をクリック → その他の関数をクリック → 関数の分類を「文字列操作」にして SUBSTITUTE をクリック
- ⑤ 「文字列」欄にカーソルが出ている状態で C2 セル をクリック → 検索文字列の欄に「-」(半角のハイフン)を入力 → 置換文字列の欄に「””」(半角のダブルコーテーションマークを2つ)入力 → OK をクリック
- ⑥ F2 セルに「1250042」とハイフンなしの郵便番号が出たことを確認して、F2 セルの右下角にマウスポインターを当て + になった時に押さえて下までドラッグする

#### SUBSTITUTE 関数について

「サブスティテュート」と読む

「…の代りをする」などの意味がある

文字等を検索して置き換える関数です

下のようになれば完成

	A	B	C	D	E	F	G
1	氏名	ふりがな	郵便番号1	住所1	住所2	郵便番号2	
2	青森花子	アオモリハナコ	125-0042	東京都葛飾区金町1-2-3		1250042	
3	秋田太郎	アキタタロウ	040-0001	北海道函館市五稜郭町2-3-4	五稜郭マンション506	0400001	
4	岩手花子	イワテハナコ	292-0061	千葉県木更津市岩根333-11		2920061	
5	山形太郎	ヤマガタタロウ	239-0821	神奈川県横須賀市東浦賀町	111-1	2390821	
6	宮城花子	ミヤギハナコ	663-8021	兵庫県西宮市上之町999	タイガーズマンション909	6638021	
7	福島太郎	フクシマタロウ	299-0102	千葉県市原市青柳888-7		2990102	
8	長野花子	ナガノハナコ	202-0023	東京都西東京市新町1111-1		2020023	
9	岡山花子	オカヤマハナコ	241-0802	神奈川県横浜市旭区上川井町	777-7-707	2410802	
10	山口太郎	ヤマグチタロウ	297-0037	千葉県茂原市早野555-5		2970037	
11	宮崎花子	ミヤザキハナコ	297-0029	千葉県茂原市高師888-8		2970029	
12							

## II. 名簿などで、関数を用いて別々のセルに入力した「姓」と「名」をつないで1つのセルに出すには？

次の名簿を作成してください

	A	B	C	D	E	F
1	No	姓	名	姓名1	姓名2	
2	1	野田	勇人			
3	2	市原	玲央			
4	3	松戸	はな			
5	4	丸山	朝日			
6	5	市川	健二			
7	6	白井	佐久良			
8	7	成田	愛里			
9	8	平川	幸太			
10	9	神崎	すみれ			
11	10	飯岡	俊治			
12						

(A) 上の名簿が出来たら、まず「姓名1」の欄に「野田勇人」のように、姓と名の間を空けずに結合させたものを記載させる

- ① D2セルをクリック → ホームタブをクリック → 編集グループのオートサム右の▼をクリック → その他の関数をクリック → 関数の分類を「文字列操作」にして CONCATENATE をクリック
- ② 「文字列1」にカーソルが出ている状態で B2セル をクリック → 「文字列2」をクリックしてカーソルを出してから C2セルをクリック → OK をクリック
- ③ D2セルに「野田勇人」と出たことを確認して、D2セルの右下角にマウスポインターを当て + になった時に押さえて下までドラッグする

(B) 次に、「姓名2」の欄に「野田 勇人」のように、姓と名の上に1文字分の空きを入れて結合させたものを記載させる

- ④ E2セルをクリック → ホームタブをクリック → オートサム右の▼をクリック → その他の関数をクリック → 関数の分類を「文字列操作」にして CONCATENATE をクリック
- ⑤ 「文字列1」にカーソルが出ている状態でB2セルをクリック → 「文字列2」をクリックしてカーソルを出してから、全角スペース(全角スペースの代わりに半角スペースを2個入れてもよい)を入力し、「文字列3」でC2セルをクリック → OK をクリック

- ⑥ E2 セルに「野田 勇人」と出たことを確認して、E2 セルの右下角にマウスポインターを当て + になった時に押さえて下までドラッグする

#### CONCATENATE 関数について

「コンキャティネイト」と読む

「結びつける、鎖状につなぐ」などの意味がある

複数の文字列を結合して一つの文字列にする関数です

下のようになれば完成

	A	B	C	D	E	F
1	No	姓	名	姓名1	姓名2	
2	1	野田	勇人	野田勇人	野田 勇人	
3	2	市原	玲央	市原玲央	市原 玲央	
4	3	松戸	はな	松戸はな	松戸 はな	
5	4	丸山	朝日	丸山朝日	丸山 朝日	
6	5	市川	健二	市川健二	市川 健二	
7	6	白井	佐久良	白井佐久良	白井 佐久良	
8	7	成田	愛里	成田愛里	成田 愛里	
9	8	平川	幸太	平川幸太	平川 幸太	
10	9	神崎	すみれ	神崎すみれ	神崎 すみれ	
11	10	飯岡	俊治	飯岡俊治	飯岡 俊治	
12						

#### 《 豆 知 識 》

※ 関数とは、面倒な計算などの手順をまとめて処理して結果を返す機能のこと

※ 一度使用した関数は、関数の分類を「最近使用した関数」にすると表示される